

葉山でっぶりカネン：葉山のでっぶり可燃ごみ。今年こそはでっぶり脱出!?  
ほっそりカネン：でっぶり生ごみから開放されて今年もはれぱいと。

来年度から始まる

# 戸別収集ってなんだろう？



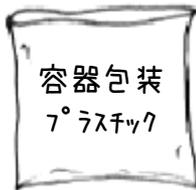
自分の家のごみを自宅の前（道路に面した自宅の敷地内）に出すことです。一人一人に自分のごみに責任を持って出してもらおう収集方法です。東京都内の多くの自治体や、藤沢市、大和市ではすでに実施されています。



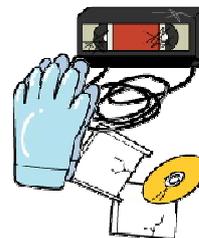
戸別収集になる予定のごみの種類



燃やすごみ  
生ごみ、汚れた紙くずなど。週2日。葉山町指定のごみ袋（半減袋）に入れます。



容器包装プラスチック  
週1日。袋の指定はないので、今まで通りレジ袋が使えます。



プラスチックごみ

プラスチックごみ  
ハンガーやCDなどプラスチックでできた製品。月1回。袋はレジ袋が使えます。

\*詳細は、今後町から広報はやまでのお知らせや、地域での説明会があるそうです。

## 戸別収集ってどうなの？藤沢市民に聞きました！

藤沢市では3年前から戸別収集を実施しています。藤沢市にお住まいの方に戸別収集について聞きました。

「これまで集積所に持って行っていたのが、家の前に出すだけなので便利になりました。集積所の近くの人にも迷惑がからなくなったので良くなったと思います。家の前に出すことで、きれいにしなきゃという意識があがったように思います。最初はカラスの心配もありましたが、バケツに入れて出しているので、ごみがカラスに荒らされずにすんでいます。」



家に出したバケツ



## 栄養いっぱいジャガイモを収穫！！

今年から生ごみ処理を始めたはやま保育園。生ごみを分解して養分たっぷりになった土を使って育てたジャガイモをみんなで収穫しました。

はやま保育園では、園内の給食から出る生ごみを土に埋めて分解処理する取り組みをしています。生ごみを分解した後の土は栄養がたっぷり。そこへ3月に植えたジャガイモを6月に収穫したところ、丸々とした大きなジャガイモができました。園児たちは、お芋が土の中にあっただのがとても不思議だったようで、掘り出される度に歓声をあげていました。ジャガイモはおやつフライドポテトや、給食のカレーとして食べました。園児からは「とってもおいしかった～！！」という嬉しそうな声が聞かれました。これからも、食べ物と土との循環を感じながら大きく育てて欲しいですね。



収穫の様子。お芋があるかな・・・？



## <乾燥剤編>

町では、**燃やせないごみ**として回収し埋め立てています。割れたお茶碗、ガラスコップなどと同じ袋に入れます。乾燥剤には、次のようにいろいろな種類があります。

### ● 消石灰

のりやせんべいに使われている白色の細かい粒状。土にまぜて土壌改良に使えます。目や口に入れないように注意。

### ● シリカゲル

透明な粒の中に青い粒が入っていれば、まだ使える証。ピンク色になったら、天日で青になるまで乾かすと再び使えます。

### ● 塩化カルシウム

タンスや押し入れの除湿剤として使われています。湿気を吸って、液体になります。液は捨てて、プラスチックごみとして捨てられます。

「ごみっぺらし通信」はゼロ・ウェイストのボランティアスタッフによる広報紙です。

「ごみっぺらし通信」は、葉山町が進めるゼロ・ウェイストのボランティアスタッフ（通称「ごみへらし隊」）による町民目線の広報紙です。ただいま13名のメンバーですが、随時参加して下さる方を募集しています。お問い合わせ先：環境課（876-1111内線451）♪ごみっぺらし通信を町のホームページからご覧になれます。サイトはこちらから→[http://www.town.hayama.lg.jp/topics2/091104\\_info2.html](http://www.town.hayama.lg.jp/topics2/091104_info2.html)